

2022 年度:こども園自己評価の報告書 てしまこども園

評価項目	取り組み状況
<p style="text-align: center;">教育・保育方針 教育及び保育の目標 全体計画・指導計画 こども園として特に配慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・保育課程 ・ 教育環境の整備 ・ 研究の取り組み 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝夕の保育時間においても 一人一人が心からいきいき活動しているか〜ドキュメンテーションで見つめる非認知の力とは〜」を研究テーマに据え、園で過ごす子ども達の気付きや様子をどのように保護者に発信していくのか探り、保護者と子どもの育ちを共感していけるよう取り組んだ。 引続き保護者と共感できるドキュメンテーションを深めながら、非認知能力を育てていく環境整備を行い教育保育の充実に努めていく。 ・ 定期的に「豊中市教育保育ガイドライン」で教育保育内容や環境の振り返りを行い、環境改善を促進していった。
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水分補給の声掛けや、気温、湿度も意識しながら体調の変化に気を配った。 ・ 毎月の体重計測では保健指導を行い、健康な生活を過ごせるような投げかけることで、自分の体に興味を持ったり考えたりすることができた。職員同士が意識し、声を掛け合うことで子ども達の健康を維持することに努めた。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月避難訓練を行った。その時に来園している保護者や地域支援センター利用者も一緒に実施した。内容も様々な状況を想定して行い、緊急時の職員の動き方を意識した。 ・ 遊具の安全管理については使い方やルールを子ども達と一緒に確認し、安全に遊べるよう配慮した。
食育の推進	<p>菜園活動では種まきから収穫、調理して食べるところまで興味関心が持てるよう取り組んだ。トウモロコシを栽培、収穫しポップコーン祭りを行い、目の前ではじける様子を見る機会をもった。普段食べていたポップコーンの原材料を知り興味を広げることができた。</p>
<p style="text-align: center;">子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入園している子どもの保護者 ・ 地域の子育て家庭 ・ 地域との連携 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修「支援のスキルアップの講演」で保護者の背景や思いに寄り添う大切さやかかわり方を学んだ。短時間ではあるが参観の後に学級懇談をもち、実際に言葉で伝えていく大切さを感じた。 ・ 感染症対策を徹底し、園児と地域の交流を行うことで互いに刺激を受けた。「3歳の育ちの講座」ではクラス担任から3歳児の具体的な姿やかかわりを話す機会をもった。直接地域の保護者から相談を受ける良い機会となった。
教育・保育内容	<p>保育室の環境の見直しを定期的に行い、その時の子どもの育ちや興味に応じた環境を設定していった。見直しや振り返りをすることは保育環境を考え展開していくことにつながり、子どもの探求心を高めることにつながった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護・健康・人間関係 ・ 環境・言葉・表現 	

<p>特別支援教育</p>	<p>子ども一人一人に合った支援を複数の職員で考え、試し、職員間で共有しながら子どもが過ごしやすい空間作りに努めた。その中で互いに認め合ったり交流が増加したりするなどのかわりが広がっていった。それぞれの「育ち」も意識して活動を取り入れる工夫をし、「経験」を保証することで興味や関心が広がるきっかけとなった。</p>
<p>職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや学年での子ども理解をすすめたことで、職員の個性がそれぞれ出たクラス作りだった。また、研修参加の機会を設けることで、職員の資質向上を図ることができた。グループワークを多く取り入れたことで、互いの考えや大切にしていることなどを知るきっかけとなり共に学び考える機会となった。 ・園内研修で学んだことは、保護者に寄り添う社会福祉の専門性の高まりにつながった。
<p>幼保こ小中の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保こ小連絡会で小1の課題を聞き、カリキュラムを振り返るきっかけとなった。 ・隣接小学校へ「探検」に行き期待を高めることができた。小学校や放課後子どもクラブと連携を取り、就学に向け情報共有を行った。
<p>関係者評価の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会を開催し、ドキュメンテーションを工夫しながら行っていることと継続して保護者へ発信していることに講評いただいた。また、コロナ禍における地域の情報を共有することができた。 ・保護者アンケートから保護者の思いを聞き、よりよい教育保育となるよう振り返りを行った。
<p>その他</p>	<p>特に人権研修では私たち職員が互いに知り合うことを意識して取り組んだ。それぞれの思いや大切に思っていることを知り得たことは学びにつながった。</p>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<p>職員の資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で研修する機会をもち、より良い保育ができるよう意見交換を行う機会をもつ。それぞれ大切にしていることや保育に取り入れていることなども引き続き共有したり工夫につなげたりしていく。 ・支援の必要な子どもからつながる集団作りを進めるため、計画、評価と反省を大切に行い実行していく。
<p>地域支援の充実</p>	<p>家庭支援のニーズが高い地域でもある。地域や保健師等と連携しながら支援を継続して行い、情報発信をしていく。</p>

令和5年（2023年）3月31日
豊中市立 てしまこども園
園長名 黒田 法子